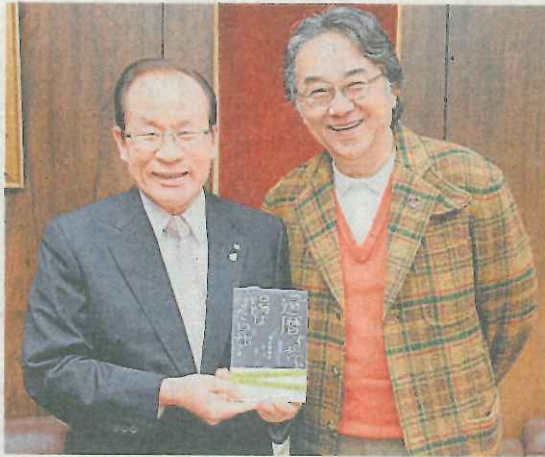


# 自伝エッセー発行

放送作家・海老原さん、市長に贈呈



3冊目の著書「還暦すぎて、陽はまた昇る」を  
朝長市長(左)に贈った海老原さん  
※佐世保市役所

佐世保市内の小中学生で  
つくる「佐世保かつちえて  
落語会」を企画・運営する  
放送作家の海老原靖芳さん  
(62) 同市石坂町が、自  
伝エッセー「還暦すぎて、  
陽はまた昇る」を発行した。  
海老原さんは「60年生きて

いれば、良いことも悪いこ  
ともたくさんある。それで  
もまた「陽(ひ)は昇る」  
のだと、子どもたちにエー  
ルを送りたい」としている。  
海老原さんは同市出身。

放送作家として、ザ・ドリ  
フターズやとんねるず、た  
けし軍団などのコント台本  
を書くなどして活躍した。  
2010年から同落語会を  
毎年2回開催。13年に約40  
年ぶりに帰郷している。

3冊目の著書。落語会で  
子どもと接するうちに自身  
の幼少時代を振り返る機会  
が増え、「遊戯や昼寝が苦  
手で幼稚園を2度中退する  
など自分の順風満帆でない  
人生をさらけ出すことで、  
子どもや親に何か伝えられ  
るのではと思って」筆を執  
ったという。著書は、幼少  
時代の思い出や久しぶりに  
佐世保に戻ったときに感じ  
た古里の良さなど、五つの  
章で構成。B6判271ページ、  
税別1700円。

海老原さんはこのほど、  
市役所を訪れ、朝長則男市  
長と市立図書館に著書を贈  
呈。朝長市長は「海老原さ  
んの活躍で落語が佐世保の  
名物となっているように感  
じている。故郷への思いを  
じっくりと読みたい」と話  
した。  
(永江倫子)